



平成29年8月1日

福岡県内経済情勢報告

平成29年8月

財務省福岡財務支局

〔問い合わせ先〕

財務省 福岡財務支局 経済調査課

TEL 092-411-9038

FAX 092-452-1318

福岡県内経済情勢報告（平成 29 年 7 月）

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに回復しつつある」

項目	前回（29 年 4 月判断）	今回（29 年 7 月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→

（注）29 年 7 月判断は、前回 4 月判断以降、足元（7 月末）の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は回復しつつあるほか、生産活動は緩やかに回復しつつあり、雇用情勢は改善している。

【各項目の判断】

項目	前回（29 年 4 月判断）	今回（29 年 7 月判断）	前回比較
----	----------------	----------------	------

個人消費	緩やかに回復しつつある	回復しつつある	→
生産活動	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
雇用情勢	改善している	改善している	→

設備投資	28 年度は増加見込み	29 年度は増加見通し	→
企業収益	28 年度は増益見込み	29 年度は減益見通し	↓
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	↓
公共事業	前年度を上回っている	前年度を下回っている	↓
輸出	前年を上回っている	前年を上回っている	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、景気回復の動きが確かなものとなることが期待される。ただし、海外経済の不確実性などに留意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「回復しつつある」

百貨店・スーパー販売額は、スーパーでは食料品が青果の価格下落の影響を受けるなど低調となっているものの、百貨店では化粧品が好調なほか、衣料品や高額品に動きがみられることから、全体では減少幅は縮小している。コンビニエンスストア販売額は、新規出店効果に加え、惣菜や店内調理の食料品が好調なことなどから、前年を上回っている。乗用車販売は、引き続き新型車が好調であることなどから、普通車、小型車、軽自動車ともに前年を上回っている。家電販売額は、エアコンや機能性の高い白物家電に動きがみられることなどから、前年を上回っている。

■ 生産活動 「緩やかに回復しつつある」

輸送用機械の自動車は、新型車投入効果がみられ、北米向けを中心に引き続き好調を維持するなど、緩やかに回復しつつある。鉄鋼は、自動車向け鋼材が好調なことなどから、高い生産水準を維持している。電子部品・デバイスは、スマートフォンや車載向けなどを中心に引き続き好調に推移している。

■ 雇用情勢 「改善している」

有効求人倍率は、上昇している。新規求人数は、卸売業・小売業等で増加している。新規求職者数は、引き続き前年を下回っている。

■ 設備投資 「29年度は増加見通し」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」29年4-6月期

29年度は、製造業は前年比14.6%の増加見通し、非製造業は同21.7%の増加見通しとなっており、全産業では同19.7%の増加見通しとなっている。

■ 企業収益 「29年度は減益見通し」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」29年4-6月期

29年度は、製造業は前年比0.0%の増益見通し、非製造業は同2.8%の減益見通しとなっており、全産業では同2.2%の減益見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

新設住宅着工戸数でみると、分譲住宅や貸家の減少から前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年度を下回っている」

公共工事前払金保証請負金額(29年度累計)でみると、市町村、国で増加しているものの、県、独立行政法人等などで減少していることから、前年度を下回っている。

■ 輸出 「前年を上回っている」

輸出(円ベース)は、前年を上回っている。なお、輸入(円ベース)は、前年を上回っている。

(その他項目)

- 企業の景況感を法人企業景気予測調査(29年4-6月期)の景況判断BSIでみると、29年4-6月期は、引き続き「下降」超となっている。先行きについては、29年7-9月期に、「上昇」超に転じる見通しとなっている。
- 企業倒産の件数は、前年を下回っている。
- 消費者物価(福岡市)は、前年を上回っている。
- 貸出金残高は、前年を上回っている。